

三重県における主な取組状況について

(1) 気候変動影響に関する三重県の取組状況について

気候変動適応法第13条の規定に基づき、三重県における気候変動影響及び気候変動適応に関する拠点として、三重県との協定により、一般財団法人三重県環境保全事業団が「三重県気候変動適応センター」を平成31年4月1日に設置しました。今年度は、環境省事業「国民参加による気候変動情報収集・分析業務」を受託し、県とセンターが連携して気候変動適応の取組を進めています。

また、津地方気象台と連携し、「気候講演会～地球温暖化によって、猛暑・豪雨・台風はどうなるのか～」を、令和元年11月19日に予定を上回る参加をいただき開催しました。

平成26年度に発行した「三重県気候変動影響レポート2014」の情報を最新のものに更新するとともに、既に現れている気候変動影響に関する情報や、それに適切に対処していく「適応」の取組を大幅に追加した「三重県気候変動影響レポート2018～いま始まる適応への挑戦～」を、平成31年3月に新たに発行しました。

(2) 脱炭素経営・再エネ導入セミナー&相談会

三重県では、県内のあらゆる分野の産業に脱炭素の取組を浸透させるとともに、地域社会全体でその価値が共有され、脱炭素経営に取り組む企業が評価される仕組みづくりを進めたいと考え、脱炭素経営の一環となる再生可能エネルギーの導入に対する需要を喚起するために、既にエネルギー関連事業を展開する地域有力事業者のみならず、地域に根差した事業を展開する一方、再エネ導入への具体的な取組へ漠然としたハードルを感じている事業者の皆様を対象として、『脱炭素経営・再エネ導入セミナー&相談会』を環境省と共催で、令和元年12月11日に開催しました。

(3) みえ環境フェア2019について

例年、地球温暖化防止月間の12月に実施している「みえ環境フェア」では、「COOLCHOICE(=賢い選択)」をテーマに、三重県における地球温暖化対策を一層推進するため、県民をはじめ、環境団体、企業、自治体、学校等の活動を紹介し、来場者に対して地球温暖化の現状について啓発を行い、地球温暖化対策に向けた行動を促進しています。

例えば、県内の食品メーカーの協力のもと、品質には問題はないものの規格外で流通できない商品等を廉価にて販売する「もったいない市」を開催し、食品ロスについて考える契機とするとともに、食品ロスの削減が温室効果ガスの排出削減につながることにについても啓発しています。

また、省エネ性能の高い家電製品への買い替え促進を図るため、家電メーカーの協力のもと、白熱電球2個を持参した来場者にはLED電球1個との無料交換や、家電メーカーによるLED照明等の省エネ家電製品の販売を行い、省エネにつながる行動の促進を図っています。

さらに省エネで快適なライフスタイルへ転換を促進するため、ZEH等の高断熱高気密の省エネ住宅の普及啓発や、県民のみなさんに環境問題に対する理解を深めていただくための、パネル展示等を行っています。

今年度は新たに日産自動車の協力のもと、子どもを対象とした、「わくわくエコスクール」を開催しました。スクールでは、手回し発電のモデルカー(模型)を作成していただき、家族で地球環境問題や電気自動車の仕組みを学んでいただきました。

(4) 三重県脱炭素宣言について

パリ協定の取組が2020年からスタートし、脱炭素に関する世界的な機運の高まりを受け、三重県では、「2050年までに県域からの温室効果ガスの排出実質ゼロ」を目指す脱炭素宣言(ミッションゼロ2050みえ～脱炭素社会の実現を目指して～)を、令和元年12月15日開催のみえ環境フェア2019において、知事から発表しました。

地球温暖化によって

猛暑・豪雨・台風はどうなるのか

三重県気候講演会

日時・場所

令和元年 **11月19日**

13時30分～16時（開場13時）

三重県総合文化センター
小ホール

定員**200名**（無料・事前申込要）

電話又はFAXで、申し込みください
申込期限：11月18日

申込・問合せ先

津地方気象台

TEL 059-228-6818
（平日9時から17時）

FAX 059-246-8484

裏面の申込書をご利用ください

内容

■異常気象と地球温暖化の関係を解き明かす 新手法～イベント・アトリビューション～

気象庁気象研究所 気候・環境研究部

主任研究官 **今田 由紀子** さん

気象庁気象研究所 応用気象研究部

主任研究官 **川瀬 宏明** さん

平成30年7月豪雨とその後の記録的な猛暑を例に、近年の地球温暖化がこれらの異常気象に与えた影響を定量化する取組「イベント・アトリビューション」の最新の成果と三重県の気候変動について講演します。

■台風のメカニズムとスーパー台風について

名古屋大学宇宙地球環境研究所

教授 **坪木 和久** さん

甚大な気象災害を引き起こす台風のメカニズムや将来予測されているスーパー台風に関する最新の研究成果について講演します。

主催 津地方気象台、三重県



三重県津市一身田上津部田1234(電話 059-233-1111)

駐車場の数に限りがありますので、なるべく乗り合わせてきていただくか、公共交通機関をご利用ください。

津地方气象台【FAX:059-246-8484】

参加申込書に必要事項を記入のうえ、このまま送信してください。

FAXの裏表に注意してお送りください

三重県気候講演会 参加申込書	
お名前 (必須)	ふりがな
電話番号 (必須)	
所属(会社名・団体名など) (任意)	
住所または所属の所在地 (任意)	
同行者がいる場合(必須)	合計名 (注. ご自身を含めた人数を、お一人の場合は1名と記入してください。)

お申し込み受理の連絡等はいりませんので、当日、直接会場へお越しください。
ご記入いただいた個人情報につきましては気候講演会のみで使用し、その他の目的で使用することはありません。

脱炭素経営・再エネ導入 セミナー&相談会

日時・場所

令和元年 **12月11日** (水)

13時30分～16時30分 (開場13時)

会場：百五銀行丸之内本部棟
2階大講堂

定員100名 (無料・事前申込要)

主催 環境省 三重県

後援 株式会社百五銀行

申込・問合せ先

三重県地球温暖化対策課

TEL 059-224-2368

FAX 059-229-1016

Email earth@pref.mie.lg.jp

* 裏面の申込書をご記入の上、FAXまたはEmailにてお申込みください。

* 申込み期限

相談会のご参加を希望されない場合：12月10日(火)

相談会のご参加を希望される場合：12月2日(月)15時

アクセス



プログラム

- 開会挨拶
(三重県 環境生活部 地球温暖化対策課)
(環境省 中部地方環境事務所)
- 脱炭素経営による企業価値の向上について
(環境省 地球環境局 地球温暖化対策課)
- 地域における再生可能エネルギー導入の課題や取組
(三重県 環境生活部 地球温暖化対策課)
- 地域における再生可能エネルギー導入事例紹介
 - ・ 株式会社百五銀行
 - ・ 大和ハウス工業株式会社
 - ・ 井村屋株式会社
- 再生可能エネルギー導入相談会
再生可能エネルギーに対する取組の一貫として、太陽光発電設備(自家消費型)の導入をご検討されたいご参加者を対象(要事前申込み)として、太陽光発電設備の導入時の簡易な経済性試算を行います。
* 試算にあたって必要な情報やご提出方法などについては、参加希望者あてに別途ご案内いたします。
* 10社程度限定(応募多数の場合は抽選)。

* 内容は予告なく変更する場合があります。

* お越しの際は、できる限り公共交通機関をご利用ください。
* また、会場には一般駐車場がございません。お車で越しの際は、近隣の有料駐車場をご利用ください。

< 申込書 >

三重県環境生活部地球温暖化対策課
【FAX:059-229-1016 Email:earth@pref.mie.lg.jp】

参加申込書に必要事項を記入のうえ、送信してください。
メールの場合、内容をベタ打ちでも結構です。

FAXにてお申込みの場合は裏表に注意してお送りください

脱炭素経営・再エネ導入セミナー&相談会 参加申込書

お名前	ふりがな
所属(会社名・団体名など)	
電話番号	
メールアドレス	
同行者がいる場合	合 計 名 (注. ご自身を含めた人数を、お一人の場合は1名と記入してください。)
再生可能エネルギー導入相談会 へのご参加 (該当箇所へ○をご記入ください)	希望する 希望しない

- * 再エネ導入相談会は10社程度限定(応募多数の場合は抽選)とさせていただきます、当落選については12月2日中にメールにてお知らせいたします。
- * 当選された方に対しては、試算にあたってご提出いただきたい情報の記入用紙を別途メールにてお知らせいたします。なお、必要な情報は①太陽光発電設備を設置する住所、②建物を特定するためのGoogle MapsのURL、③直近1年の「電気ご使用量のお知らせ」(検針票)のコピーの3点となります。12月4日までにご提出いただきます。

お申し込み受理の連絡等はいりませんので、当日、直接会場へお越しください。
ご記入いただいた個人情報につきましては「脱炭素経営・再エネ導入セミナー&相談会」参加者の管理、及びご連絡以外の目的で使用することはありません。

環境フェアから出るCO₂を、他の場所でのCO₂削減・吸収量で埋め合わせ(カーボンオフセット)しています。



二酸化炭素を出さないイベント

令和元年

12月15日 10:00~15:00

みえ

環境フェア2019

会場

メッセウイング・みえ

津市北河路町19-1 TEL.059-223-4655

※天候等の事情により中止や内容を変更する場合があります。

COOL CHOICE (=賢い選択)

ステージイベント

環境トーク 13:00~14:30

「地域・地球環境問題と国連持続可能な開発目標(SDGs)」

SDGsで取り組む持続可能な三重創生と次世代育成



参議院議員
元滋賀県知事
嘉田 由紀子



三重県地球温暖化防止活動推進センター長
朴 恵淑



当日整理券配布

温暖化と電気自動車について楽しく学ぼう!

実験で使ったモデルカーは持ち帰りできます!



11:00~
12:00~
14:30~

※各30分
※7組×3回の公演予定です。

電気自動車・燃料電池自動車などの展示



省エネ住宅フェア

住宅メーカー・工務店が住宅の断熱化、太陽光発電などをご提案

白熱灯2個ご持参いただくとLED電球1個と交換します! 150名限定!

家庭の省エネフェア

LED等の省エネ家電をお値打ち販売

アニメ上映会開催

ガラスの地球を救え! Save our mother earth project

「ガラスの地球を救え!」プロジェクト
「地球との約束」
「私たちの未来」



売切御免

食品ロス削減の取組の一環として、規格外品等の廉価販売

もったいない市

高校による農産物及び弁当等の販売

四日市農芸高校 相可高校調理クラブ

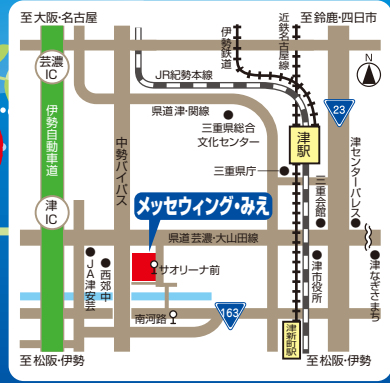
「三重県地球温暖化防止啓発ポスターコンクール」表彰式

体験・工作



主催：三重県地球温暖化防止活動推進センター(一般財団法人三重県環境保全事業団)
共催：三重県 後援：中部地方環境事務所 中部経済産業局
協賛：一般社団法人三重県産業廃棄物協会

スタンプラリーもあるよ



問い合わせ先

三重県地球温暖化防止活動推進センター事務局
住所：三重県津市河芸町上野3258番地
TEL 059-245-7517 FAX 059-245-7518
メール：mccca@mec.or.jp

★津駅東口、津新町駅からサオリーナ前まで路線バス有(有料)
★車でお越しの際は、エコドライブ&乗り合わせて。

体験・展示エリア

クリスマスリース作り・間伐材を使った箸作り・ミニカーレース・小枝のストラップ作り・松ぼっくりでミニクリスマスツリー・貝のキーホルダー作り・生き物ロボット・モデルカー製作体験・ゴミアプリPR・万華鏡作り・鉛筆立て作り・エコカード発行・プラネタリウム・缶バッジ作成・釣りボイゲーム・アロマキャンドル作り・木の実工作・牛乳パック工作・ウミガメ紙芝居・環境クイズ・人力自転車発電体験・エコバック作成・つりつり大作戦・廃油石鹸配布・カーボンオフセット商品販売・ゴミに関する展示・活動写真展示・社会貢献活動のパネル展示・事業紹介・学校教育紹介・環境ポスター展示・風力発電シオラマなど

- K-1** 三重県環境生活部 地球温暖化対策課 (わくわくエコスクール)
- K-2** 伊勢広域環境組合リサイクルプラザ
- K-3** トヨタカローラ三重株式会社
- K-4** 三重三菱自動車販売株式会社
- K-5** 三重交通株式会社
- K-6** JAF三重支部
- K-7** 三重県環境生活部 大気・水環境課
- K-8** 伊勢市環境会議
- K-9** 白塚の浜を愛する会
- K-10** 津市 環境政策課
- K-11** 鈴鹿市 環境部 環境政策課
- K-12** 松阪市 環境生活部 環境課
- K-13** 四日市市 環境部
- K-14** シャープ株式会社 三重工場
- K-15** シャープ株式会社 亀山工場
- K-16** 三重大学国際環境教育研究センター
- K-17** キオクシア株式会社 四日市工場
- K-18** 住友電装株式会社 津製作所 津エコクラブ
- K-19** 一般社団法人 M-EMS認証機構、M-EMS環境倶楽部
- K-20** 生活協同組合コープみえ
- K-21** マックスバリュ東海株式会社
- K-22** 四日市公害と環境未来館
- K-23** 三重執鬼株式会社
- K-24** 中部電力株式会社 三重支店 中部原子力懇談会 三重支部
- K-25** 三重県気候変動適応センター
- K-26** 三重県地球温暖化防止活動推進センター (省エネ診断)

- K-27** 一般財団法人 三重県環境保全事業団
- K-28** 一般財団法人 三重県環境保全事業団 調査部
- K-29** 三重県地球温暖化防止活動推進センター (昔の道具展示)
- K-30** 万縁有限公司
- K-31** 鈴鹿中学・高等学校SOM
- K-32** 三重県立四日市農芸高等学校
- K-33** 株式会社シーテック 再生可能エネルギー事業本部 風力発電部 三重発電管理所
- K-34** 四日市市少年自然の家
- K-35** 井村屋グループ株式会社
- K-36** 亀山市総合環境研究センター 亀山市環境課環境創造グループ
- K-37** ウミガメネットワーク
- K-38** 三重中学校・三重高等学校 科学技術部
- K-39** 一般社団法人 三重県産業廃棄物協会
- K-40** 特定非営利活動法人 三重スローライフ協会
- K-41** 三重県環境学習情報センター
- K-42** 一般財団法人 三重県水質検査センター
- K-43** 鈴鹿地区推進委員会
- K-44** 環境学習サークルみえ
- K-45** 三重大学環境ISO学生委員会
- K-46** 鈴鹿市生活学校
- K-47** グリーンカレッジみえ
- K-48** 坂下星見の会
- K-49** 三重県環境生活部 廃棄物対策局 (ドローン展示)
- K-50** 三重県環境生活部 廃棄物対策局 (缶バッジ作成)
- K-51** 三重県環境生活部 地球温暖化対策課
- K-52** 三重県環境学習情報センター (ポスター展示)

省エネ住宅の紹介等 省エネ住宅フェア

- J-1** 三井ホーム株式会社
- J-2** 「美し国の家」普及促進協議会
- J-3** セキスイハイム中部
- J-4** 三交ホーム 三交のリフォーム
- J-5** 株式会社一条工務店
- J-6** 森大建地産株式会社
- J-7** 住友林業株式会社
- J-8** 大和ハウス工業株式会社 四日市支社 三重営業所
- J-9** Forward to 1985 energy life

規格外品等の廉価販売 (売り切れ御免) もったいない市

- M-1** 井村屋株式会社
- M-2** あられ処 たばね庵
- M-3** おぼろタオル株式会社

エコカー紹介等 (屋外展示)

電気自動車燃料電池自動車など

- C-1** 東邦ガス株式会社
- C-2** トヨタカローラ三重株式会社
- C-3** 三重県雇用経済部ものづくり・イノベーション課、鈴鹿市産業振興部産業政策課、みえ水素ステーション合同会社 共同出展
- C-4** 三重日産自動車株式会社
- C-5** 三重三菱自動車販売株式会社

省エネ家電の紹介等

- L-1** アイリスオーヤマ株式会社
- L-2** シャープマーケティングジャパン株式会社
- L-3** パナソニック株式会社 ライフソリューションズ社
- L-4** LED電球交換コーナー

ぞみステーション

- G-1** 一般社団法人 三重県産業廃棄物協会

高校による農産物及び弁当等の販売

- H-1** 三重県立四日市農芸高等学校
- H-2** 相可高校 調理クラブ

アニメ上映会 (2階研修室)

- A-1** 三重県環境生活部 地球温暖化対策課

ミッションゼロ 2050 みえ ～脱炭素社会の実現を目指して～

三重県は、豊かな山、海、川といった自然に恵まれ、私たちは、その恩恵を受けて日々の暮らしを営んでいます。

しかし、近年、地球温暖化に伴う気候変動の影響と考えられる事象が増加し、県内においても、豪雨災害や熱中症患者の増加、農水産物への被害等私たちの生命や暮らし、命の源である食が脅かされてきており、温暖化防止は待ったなしの状況です。

昨年公表された「IPCC特別報告書」では、工業化以前からの気温上昇を2℃上昇よりもリスクの低い1.5℃未満に抑えるためには、2050年頃に二酸化炭素の排出を実質ゼロにする必要があると示されました。

こうした中で、2016年の「G7伊勢志摩サミット」において、首脳宣言にもその着実な実施等が盛り込まれた「パリ協定」の取組が、間もなく2020年からスタートします。

今こそ、SDGsの「誰一人取り残さない」という精神にのっとり、将来に渡って、健康で安全、安心に暮らすことができる地球環境を守り、県民誰もが幸福を実感し、三重ならではの豊かさを享受できる、新たなステージへと進まなくてはなりません。

本県には、四日市公害の経験から日本の公害問題解決の道を拓き、産業廃棄物税の導入、レジ袋の有料化など、全国に先駆けた環境への取組を進めてきたスピリットがあります。また、オール三重で、伊勢志摩サミットを成功に導いた経験や自信があります。これらを原動力として、積極的に行動に移し、必ずや結果を導き出すことができるものと確信しています。

県は、市町、事業者や県民の皆さんとともに手を携え、未来を生きる子どもたちのためにも、地域から世界の脱炭素化に貢献するとの気概を持ち、2050年までに県域からの温室効果ガスの排出実質ゼロを目指します。

脱炭素社会の実現に向け、県が率先して取り組む決意として、ここに宣言します。

2019年12月15日
三重県知事 鈴木 英敬